

Vol.81

Vol.81 (2019年冬号)

# PMI 日本支部 ニュースレター



Best Practice and Competence / PM 事例・知識 ..... 3

Activities / 支部活動 ..... 17

PM Calendar / PM カレンダー ..... 21

Fact Database / データベース ..... 22

Editor's Note / 編集後記 ..... 26

## Best Practice and Competence / PM 事例・知識

- ◆ PMI Japan Festa 2019 全体報告 ..... 3  
PMI Japan Festa 2019 統括PM PMI日本支部 セミナープログラム 松丸 真司
- ◆ PMI Japan Festa 2019 セミナーレポート ..... 5
  - JAAF RunLink (日本陸連ランナー登録制度) ～ 目指せ、登録者2000万人とそのデータビジネス ～  
講師：早野 忠明氏 レポート：セミナープログラム 豊田 光海
  - 笑いの教育3.0 ～ 新時代に必要な笑いの学び方 ～  
講師：矢島 伸男氏 レポート：セミナープログラム 成田 渉
  - 農業はイノベーションの宝庫  
講師：加藤 百合子氏 レポート：セミナープログラム 大島 康宏
  - 食べる宝石「ミガキイチゴ」誕生の軌跡 ～ アグリテックが変える未来 ～  
講師：岩佐 大輝氏 レポート：セミナープログラム 近藤 昇久
  - 花のチカラ。 ～ プロマネのためのフラワーレッスン ～  
講師：櫻井 はる枝氏 レポート：セミナープログラム 鬼束 孝則
  - ガルパンと共に歩み、楽しんだ大洗町  
講師：常盤 良彦氏 レポート：セミナープログラム 西 慶倫
  - 世界が認めた“上質な日常” ～ 「庭のホテル 東京」の奇跡 ～  
講師：木下 彩氏 レポート：セミナープログラム 近藤 昇久
  - プロジェクトの成否は提案段階で決まる！ ～ 体系的に学ぶ、PMとしての提案活動の進めかた ～  
講師：式町 久美子氏 レポート：セミナープログラム 川野 琢也

## Activities / 支部活動

- ◆ PMI日本支部リーダーシップミーティングLM2019 ..... 17  
PMコミュニティ活性化委員会 委員長 福本 伸昭  
LM2019運営チーム・リーダー 伊熊 昭等
- ◆ 女性PMコミュニティ WomenOBF 2019年の活動紹介 ..... 20  
女性PMコミュニティ WomenOBF 代表 高橋 紫

## PM Calendar / PMカレンダー ..... 21

- PMI日本支部関連セミナー等

## Fact Database / データベース ..... 22

## Editor's Note / 編集後記 ..... 26

## ◆ 商標等について

「PMI Project Management Institute」とそのロゴおよび「PMP」、「CAPM」、「PMBOK」、「OPM3」、「Quarter Globe Design」は、米国および他の国で登録されているプロジェクトマネジメント協会のマークであり商標です。プロジェクトマネジメント協会のマークの対象リストについては、プロジェクトマネジメント協会の法務部門へお問い合わせください。「ITIL® (IT Infrastructure Library)」は、英国及び欧州連合各国における英国政府 Cabinet Officeの商標又は登録商標です。

# Best Practice and Competence / PM 事例・知識

## PMI Japan Festa 2019 全体報告

PMI Japan Festa 2019 統括PM  
PMI日本支部 セミナー・プログラム 松丸 真司

2019年11月23日(土)、24日(日)の2日間にわたり、慶応義塾大学日吉キャンパスにおいて、PMI Japan Festa 2019を開催いたしました。

Festaは、PMI日本支部の部会であるセミナー・プログラムのメンバーが主体となって企画・運営するものです。

今年度で12回目となり、PMI創立50周年記念にふさわしい盛大なイベントとなりました。関係者および参加者の皆さまに、この場を借りて感謝申し上げます。



受付開始

今年のテーマは「新時代に挑む ～10人の業界トップランナーに聞く～」。各界から10名の講師をお招きし、例年にも増して非常に興味深い内容の講演をいただきました。

それぞれの講師の言葉は違うものの、時代、社会、自らが置かれた環境などでの「変化への対応」について共通したお話がありました。IT業界は変化が早いと以前より言われていますが、これはどの業界も同じ。私自身も「臨機の素早い対応」が肝要と感じ入った2日間でした。

各講演概要については、セミナー・プログラムのボランティア・スタッフがレポートを執筆しています。当日参加された方はもちろん、参加いただけなかった方を含めて次ページ以降をぜひ、ご一読ください。



講演の様子

運営面につきましては、一昨年から引き続き同時中継サービスを実施し定着化させました。会場で受講いただいた方とほぼ同数の方が同時中継サービスで受講いただき好評を得ています。

遠方にお住まいの方をはじめ、首都圏にお住まいで当日、現地まで足を運ぶことができない方は積極的にご活用ください。



講演の様子

今年の試行として、「将来のプロジェクト・マネジャー候補」という位置づけで中・高・大学生の子女を無料同伴いただけることとしました。この結果7名の方々がお子様をお連れ下さいました。そのうちのお一人は交流会にも参加くださ

## ■ PMI Japan Festa 2019 全体報告

り、我々も歓談させていただきました。プロジェクト・マネジャーという世界に興味を持っていただける良い機会になったのではないかと考えています。



交流会

また、今回は2日目に登壇いただいた櫻井はる枝様によるフラワーアレンジメントで講演ステージと交流会場を彩っていただきました。華やかな雰囲気の中、講師の方々はもちろん、受講者の方々、交流会に参加された方々も心が癒されたことと思います。

2020年のFestaも例年通り、秋の開催を予定しております。ぜひ参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

## ● 開催結果報告

[https://www.pmi-japan.org/news/info/2019\\_11\\_27\\_festa2019houkoku.php](https://www.pmi-japan.org/news/info/2019_11_27_festa2019houkoku.php)

なお、セミナー・プログラムの活動に興味をお持ちの方は、こちらをご覧ください。

<https://www.pmi-japan.org/session/program/seminar.php>



PMI Japan Festa 2019 スタッフ一同 セミナー・プログラムほかボランティア

## 【Festa2019】セミナーレポート (No 1)

## ■ JAAF RunLink (日本陸連ランナー登録制度)

～ 目指せ、登録者2000万人とそのデータビジネス～

講師：早野 忠明氏

レポート：セミナープログラム 豊田 光海

## 【セミナー概要】

- 開催期日：2019年11月23日(土) 10:30～11:30
- タイトル：JAAF RunLink (日本陸連ランナー登録制度)  
～ 目指せ、登録者2000万人とそのデータビジネス～
- 講師：早野 忠明氏

## □講師のプロフィール：

1958年生まれ。長崎県出身。  
筑波大学 体育専門学群を卒業後、高校教諭、アシックスポ  
ウルダーマネージャー、ニシ・スポーツ常務取締役を経て、  
下記役職を現任

- ・ JAAF RunLink チーフオフィサー
- ・ 一般財団法人東京マラソン財団事業担当局長
- ・ 東京マラソンレースディレクター
- ・ 日本陸上競技連盟総務企画委員
- ・ 国際陸上競技連盟ロードランニングコミッション委員
- ・ スポーツ庁スポーツ審議会健康スポーツ部会委員
- ・ 内閣府保険医療政策市民会議委員



## 【はじめに】

早野様には5年前のFesta2014で「東京マラソン仕掛人が狙う次なる戦略とは」というテーマでご講演をいただきました。

東京マラソンが市民のマラソン大会に終わることなく、その次なる壮大な構想が素晴らしく感じていたため、来年に東京オリンピックを控えた今、その構想がどのようになっているのか非常に興味があり、Festaで2度目のご講演を依頼しました。

## 【講演の内容】

今まで競技陸上中心だった日本陸連は2018年11月、アクティブなライフスタイルを送ることを目的とした「ウェルネス陸上」実現のために、一般ランナーにもサービスの供給、管理を行う「RunLink」を発表しました。講演の冒頭で、ランナーは自己主張が強い、言いたがり、自己顕示欲が強いそしてリーダータイプが多いというお話がありましたが、現在1,000万人のそんなランナー達をターゲットにし、大会データ等さまざまなビッグデータを活用し、賛同企業とともに、ビジネス・プラットフォームを構築するというスキームについてご説明いただきました。

Fuse Running = Fuse anything you like into running というコンセプトの下、ランニングと何かを結びつけることにより、スポーツ業界以外と新たなビジネススキームを構築するというアイデアには、計り知れないポテンシャルとビジネスチャンスがあります。現在1,000万人のランナーを20年後の2040年には2,000万に増やすという構想を実現するには、大きなムーブメントを起こす必要があります。ムーブメントを起こすためのポイントとして、「インフルエンサー」、「企業」、「行政」という3つのキーワードをあげられていましたが、この3つをいかに巻き込むかが、成功の鍵と言えます。

一から新しいことを始めるにはさまざまな困難と抵抗勢力がありますが、プロジェクト遂行には、それに屈しない担当者の強いパッションが必要で、最初は低空飛行でなかなか成果が出なくても、そこでめげず、必ず成果が出てくると信じてやり続けることも必要です。

状況が上向き、成果が出た瞬間にあれを企画したのは俺だ

## ■ PMI Japan Festa 2019

から…と言い出す人達が意外と多く、「あれ俺詐欺」に屈しない強い信念とめげない強い心が必要というご講演最後の言葉は、とても心に響きました。

## 【講師担当余話】

私は2012年、2013年と2度東京マラソンで走る機会があり、その後は何度かボランティアとして関わりました。38,000人のランナーと1万人のボランティアが参加する大会運営のマネジメントは、観客を含めた全ての人達が笑顔になれるように考えられていて、非常に素晴らしいものでした。今後2040年に向け、ランナー2,000万を目指して、RunLinkがどのような展開になるのか、一市民ランナーとして非常に楽しみです。

早野様には駅伝シーズン真っ只中でご多忙のところ、ご講演をいただき感謝を申し上げます。



## 【Festa2019】セミナーレポート (No2)

## ■ 笑いの教育3.0

～新時代に必要な笑いの学び方～

## 【セミナー概要】

- 開催期日：2019年11月23日(土) 11:45～12:45
- タイトル：笑いの教育3.0 ～新時代に必要な笑いの学び方～
- 講師：矢島 伸男氏
- 講師のプロフィール：

東京都墨田区出身・在住。現役の大学教員である傍ら、お笑いコンビ「オシエルズ」として活動中。イベントMC・講座など年間200以上のステージに立つ。修士号（教育学）を持ち、「笑いを教える」をテーマにこれまで約5万人の学生・ビジネスマンへの講演実績を持つ。専門は教育方法学、教育社会学。人を笑わせる能力を4領域に尺度化し「ユーモア・スキル」と定義。大手企業の研修にも多数活用されている。書籍「イラスト版 子どものユーモア・スキル」(2017年・合同出版)は、発売後Amazon教育書(学習指導部門)で最高2位を獲得。教育雑誌「灯台」(第三文明社)にてコラム

講師：矢島 伸男氏  
レポート：セミナープログラム 成田 渉



を連載中。日本即興コメディ協会代表。日本笑い学会関東支部運営委員。埼玉医科大学短期大学非常勤講師。

## 【はじめに】

矢島さまに講演をお願いするために都内でお会いしまし

## ■PMI Japan Festa 2019

た。第一印象は芸能人というより生真面目な社会人という雰囲気でしたが、実際の物腰、お話ぶりもその通りで、Festaの企画をご説明する打ち合わせはとてもスムーズに進みました。講演概要の原稿をいただいたとき、この内容でお笑いが取れるのか？ そんなにまじめにお笑いを語れるものなのか？と、少し不安を感じるほどでしたが、そこは若くして百戦錬磨の矢島さま。全てを託すこととしました。

## 【講演の内容】

講演が始まると、その不安はすぐに解消されました。最初のつかみとして「目玉焼きに何をかけるか」を質問し、受講者との距離感をアツという間に無くしておいででした。この距離感の短縮によって、矢島さまが強調していた「心理的安全性」というものが確立、身を持って実現されました。その後の笑いのバージョンの話や笑いがもたらせる威力などについて、落語の高座やプレゼントを受ける方の気持ちだけを伝えるなどのちょっとしたワークをすることにより、受講者の興味を集中させることができていると思います。その後、笑いの定義といった少々難しい部分もありましたが、前半のいわゆる「心理的安全性」によって、受け入れられた所はたくさんありました。

またそれよりも、Festaで講演されたこれまでの講師に比べると、伝える言葉の数、テンポはやはりお笑い芸人のリズムであり、そのスピード、テンポには感服するものがありました。「さすがの講演!」というより、「さすがの舞台!」でした。

PMにとって、話し易い環境を作り上げる重要性も教えていただきました。

今後、テレビなどでお笑いをもっともっと広め、いずれは相方の野村真之介さまと一緒にプロフェッショナルな講演とお笑いのライブをぜひ、Festaで行ってもらいたいと思います。

矢島さまのさらなるご活躍を切に願っております。

## 【講師担当余話】

翌日、単独ライブがあり、講演終了後は次の日に備えて、すぐに次の会場へ向かわれました。交流会も時間があれば出たかったとのことでした。何かの機会にお笑いについてもお話ししたかったと思いました。

矢島さま、本当にありがとうございました。



## 【Festa2019】セミナーレポート (No.3)

## ■農業はイノベーションの宝庫

講師：加藤 百合子氏

レポート： セミナープログラム 大島 康宏

## 【セミナー概要】

- 開催期日：2019年11月23日(土) 14:15～15:15
- タイトル：農業はイノベーションの宝庫
- 講師：加藤 百合子氏
- 講師のプロフィール：

株式会社エム・スクエアラボ 代表取締役

- 1974年千葉県生まれ。
- 東大農学部にて農業システムの研究に携わり、英国クランフィールド大学で修士号取得、その後米国でNASAのプロジェクトに参画。帰国後、キヤノンに入社し、SOC 検証部

## ■PMI Japan Festa 2019

隊に配属。

- 結婚を機に静岡に移住し、産業用機械の研究開発に7年程従事したものの農業の社会性の高さに改めて気づき、2009年にエム・スクエアラボを設立。
- 2012年青果流通の取引を取組みに変える「ベジプロバイダー事業」で日本政策投資銀行第一回女性ビジネスプランコンテスト大賞受賞。
- 農業を軸とした事業創造を続け、2017年「やさいバス株式会社」、2018年「Glocal Design School 株式会社」を創業。



## 【はじめに】

皆さんは「日本の農業」と聞いて何を思い浮かべますか。農業従事者の高齢化、後継者不足、貿易自由化による海外生産品との価格競争など、多くの課題を耳にしているのではないのでしょうか。実は今、AI、IoT技術を取り入れた、従来の手法にとらわれない新しい農業の話題も増えてきています。本講演では、農業の課題は、他のさまざまな社会機能や産業と掛け算することで解決できるということ、事例を紹介しながらお話いただきました。

## 【講演内容】

「農業×ANY=Happy」をキーワードに、農業は何にでも掛け算ができる。例えば教育、例えば流通であって、かけ合わせることによって社会の課題解決が導ける面白いものという言葉で講演は始まりました。

農業生産者と消費者の間には、何人もの人が介在し、それが情報と信頼の断絶を起こしていました。生産者の思いは消費者に届かず、消費者の思いは生産者に届いていませんでした。そこでまずは、野菜を作る人、使う人、食べる人を繋げることからスタートしました。その結果使う人は、新鮮な野

菜が手に入るだけでなく、どのように生産され、流通されてきたか説明を受けられるようになり、その結果売り上げが増えました。食べる人は安心・納得して食事を楽しむことができるようになりました。そして、食べる人の声を作る人に届けることができました。このように三者に価値をもたらす良い循環を作り上げることができました。

次に取り組んだ課題は、ヤマト騒動から一気に上がった宅配コストの増加です。

共同配送の仕組みとして野菜バスを立ち上げて、従来の小売、ネット通販、直売所と比較して最も手数料が少なく、生産者に利益を還元できる仕組みが実現できました。静岡からスタートして、今は長野にも広まっています。

教えているけど育てていない。答えがある世界に子供達を閉じ込めて、生きる力や知恵そのものを育てることが出来ていないと感じています。農業を行うには、天文学、地理学、物理学、化学などさまざまな知識と技術が必要になります。農業は人を育てるのに最適と考え、スクールを立ち上げました。このスクールでは、小中学生が地域の課題設定、仮説立て、ハーブティーの生産から販売、活動報告までの全てを行います。今年の売り上げ目標は275万円で、半分の原価を引いた残りは次年度の活動費となります。

地に足がついた活動を行うことで、子供達は社会の仕組みを知ったり、大人達に物怖じせず接することができるようになったりと、大きく成長します。また、大人達が彼らから学ぶことも多いです。

行ってきた事業の中には、成功するわけがないという反対の声が多くありました。しかし、きちんとした試算や実証実験の結果から成功をイメージし、そして何より、地域に必要





## ■PMI Japan Festa 2019

とされている想いが後押しして続けることが出来ました。

農業には課題があるからこそ、イノベーションの種がたくさんあります。課題に対しての仮説を立てるときは、「バカになる」、「シンプルに」、「チームでオープンに」がポイントです。

## 【講師担当余話】

「会場に足を運んでいただいた受講者のために何か企画は

ありませんか？」という私の無理なお願いに、「ハーブティーを提供します」と快く応じてくださり、当日質問をいただいた受講者にお配りしました。講演の中でも登場したスクールの子供達が生産・販売している「本気のハーブティー」です。生産者などストーリーを知ること、一段と美味しくいただけそうです。

## 【Festa2019】セミナーレポート (No.6)

## ■食べる宝石「ミガキイチゴ」誕生の軌跡 ～ アグリテックが変える未来～

講師：岩佐 大輝 氏

レポート：セミナープログラム 近藤 昇久

## 【セミナー概要】

- 開催期日：2019年11月24日(日) 9:30～10:30
- タイトル：食べる宝石「ミガキイチゴ」誕生の軌跡  
～ アグリテックが変える未来～
- 講師：岩佐 大輝 氏
- 講師のプロフィール：  
株式会社GRA 代表取締役CEO

## 【略歴】

- 1977年 宮城県山元町生まれ。日本および海外で複数の法人のトップを務める起業家。
- 2002年 大学在学中にITコンサルティングサービスを主業とするズノウを起業。
- 2011年の東日本大震災後は、壊滅的な被害を受けた故郷山元町の復興を目的にGRAを設立。先端施設園芸を軸とした「東北の再創造」をライフワークとするようになる。
- 農業ビジネスに構造変革を起こし、ひと粒1000円の「ミガキイチゴ」を生み出す。
- 著書に『99%の絶望の中に「1%のチャンス」は実る』（ダイヤモンド社）、『甘酸っぱい経営』（ブックウォーカー）、『絶対にギブアップしたくない人のための成功する農業』（朝日新聞出版）がある。
- 人生のテーマは「旅するように暮らそう」。趣味はサーフィ

ンとキックボクシング。



## 【はじめに】

岩佐様は2011年の東日本大震災を契機に、人生の大きな転換を向かえた方のひとりです。岩佐様の故郷である宮城県山元町は津波で人口の4%を失い、その後、人口の25%以上が流出してしまうという壊滅的な状況でした。岩佐様はご自身のプロフェッショナル領域である起業で「故郷に会社を創って雇用を創る！」と決意され、Local to Globalにつながるビジネスとして、故郷の主要農産物のイチゴに着目し、ITと起業家の知見を活かして故郷の産業と誇りの復興に取り組

## ■PMI Japan Festa 2019

まれました。

## 【講演の内容】

当時、岩佐様と一緒に始めた仲間であり農業40年のベテランであるハシモトさんに「どうしたら美味しいイチゴを作れるか?」を尋ねたところ、「イチゴづくりはひとに教えてもらうものではなく、イチゴと会話しながら覚えるものだ。イチゴと会話できるようになるには、15年俺についてくればわかる」と言われたそうです。岩佐様は15年も待てないと、アグリテック、すなわちITによってハシモトさんの匠の技を再現することにチャレンジし、成果として単位面積当たりの収穫量2倍、キロ当たりの販売単価2倍、すなわち2×2=4倍の生産性を実現しました。品質が向上したことでミガキイチゴとしてブランド化、その後、イチゴを使ったコスメ、スパークリングワインと多角化を進めました。「ミッションは強い雇用を作ることであり、生のイチゴだけでは季節雇用になってしまう。通年雇用のために夏にもキャッシュインするビジネス、すなわちセカンドプロダクトを創ることで1年を通して顧客にリーチできるようにした」。

講演の後半では、岩佐様の経験に基づく「現状打破するための5つの考え方」をご紹介いただきました。

- ①脱ステップ論：グローバルに出ようと思ったとき、ステップバイステップは時間がかかる。ビジネスがあれば、いきなりグローバルに出ていける。
- ②極をとる：敢えて賛成か反対のどちらかの極をとり、自ら批判にさらす。そうすると、本当に何かにチャレンジしたいときに、全力でついてきてくれる人がみつかる。
- ③マルチパラレル：複数の対局軸を持とう！都会（世界）- 地方（国内）、形式知 - 暗黙知、営利 - 非営利、効率性 - 創造性など、自分の反対の場所にいる人に会ってみることで、イノベーションの源泉である非連続を自ら創り出そう。
- ④PDPDPCA：ビジネスルール、マーケット・ルールの変化が激しく、昨日の勝ちパターンが、今日は負けパター

ンになっている。PD、PD、PDでたくさんチャレンジして、1発かすったら、それでCAを回そう。

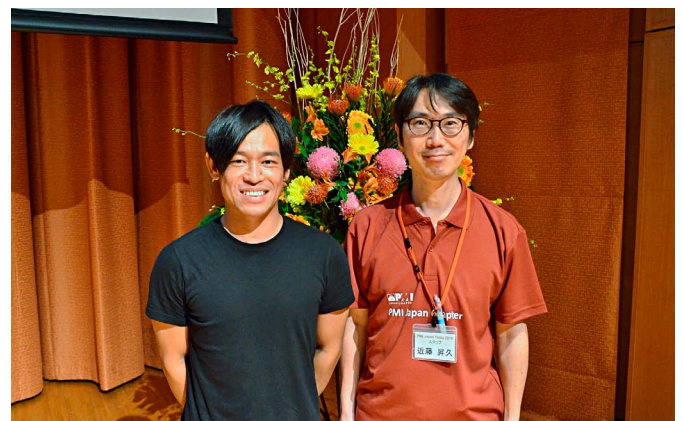
- ⑤脱リソース論：リソースは思想や理念、事業計画から生まれるのではなく、思想や理念をベースにした「行動」から生まれる。まず動いてモメンタムの芽を作ろう。行動こそが価値を生む。No action, No future.

最後に「学んでも行動しないと意味がない。新しい一歩を踏み出してみましよう」という力強い言葉をいただきました。

## 【講師担当余話】

岩佐様をJapan Festaの講師として推薦したのは、セミナープログラムのほかのメンバーからでした。岩佐様のお名前はどこかで聞いたことがあるなど思ったものの、どこで聞いたか思い出せずにいました。それから1カ月ほど経って、自分が通っているビジネススクールのイベントの登壇者として岩佐様のお名前を見つけ、ビジネススクールの先輩だということが判明しました。

「登壇の交渉は私が行く」と買って出て、岩佐様に直談判するためイベントに急遽申し込み、会場に向かったのです。岩佐様から直接お話しをうかがうことでJapan Festaにぜひ登壇いただきたいと確信し、私からはJapan Festaの趣旨をご説明し、ご快諾いただけたのでした。



## 【Festa2019】セミナーレポート (No.7)

## ■花のチカラ。 ～プロマネのためのフラワーレッスン～

講師：櫻井 はる枝 氏

レポート：セミナープログラム 鬼束 孝則

## 【セミナー概要】

- 開催期日：2019年11月24日(日) 10:45～11:45
- タイトル：花のチカラ。～プロマネのためのフラワーレッスン～
- 講師：櫻井 はる枝 氏
- 講師のプロフィール：  
株式会社 HARUE FLOWER 代表  
ハルエフラワーアカデミー学長

## 【略歴】

- 2002年にホテルにてフラワー教室の講師をつとめて以来、企業向けにフラワー講習会を開催。
- 2006年には全国の新規開設サロンへ出向き、室内装飾、商品ディスプレイ等トータルプロデュースを手がける。その後、ヒューマンアカデミー銀座校ブライダルフラワートータルプロデュース講師、大手一流企業の空間プロデュースを担当し、2008年にはヒューマンアカデミーにてフラワー講座のカリキュラムを開発、銀座校舎で優秀講師賞を受賞。
- 2010年に厚生労働省支援事業職業訓練に携わり、翌2011年にはNPO法人青年自立支援センターにて若者たちの育成・指導する。
- 2016年にはベトナムの国家的なイベントである桜祭りに15,000本の桜をプロデュースし絶賛される。2017年

から障がいを持つ方々へフローリスト就労支援を開始し、2018年にはアジア国際映画祭のオフィシャルスポンサーとして文化興隆をサポート。

- 2019年より花を介して人々の感性を豊かにするフラワーマインドフルネス®を商標登録し企業へのワークショップなど幅広い活動を行っている。

## 【はじめに】

皆さんは普段生活する中で花にどれだけ接していらっしゃいますか？花は好きだがなかなか接する機会がない、そんな声が聞こえてきます。「私は花のチカラを信じています。」講師の櫻井はる枝様は続けてこう話されます。花を見る、花を贈る、花をもらう、花を生ける、花を育てる、花にはさまざまなシーンがありますが、これまで花によって多くの人たちのココロが変化する瞬間を見てきました。会社、組織、プロジェクト、学校、友達、家族など、何かを成し遂げるには一人ではなく必ず相手が存在します。

当講演では36年間花と真剣に向き合ってきたエキスパートが、自分のココロを変え相手のココロを変える本当の花のチカラを惜しみなくお話いただきました。

講演当日に至るまで、講師の櫻井様、PMI日本支部や理事の皆さま、セミナープログラムメンバーのご支援に深く感謝します。

## 【講演内容】

講演については以下のアジェンダで進められました。

- プロフィール
- フラワーデザイナーについて
- 日越の国交を深める桜祭り
- フラワーチームビルディング
- おわりに



## ■PMI Japan Festa 2019



講演では「花は、私たちがより良く生きるための武器である」というメッセージから始まり、花による障害者支援や日本とベトナムの文化交流と友好協力関係の強化を目的として開催された「ベトナム桜祭り」でのご活躍、そして花を使ったワークショップの紹介に至るまで、多彩な活動を華やかに講演いただきました。

相手の気持ちを引き出し、気持ちを想うことの大切さを説かれ、数年間言葉を発していない自閉症の中学生の女の子が、花を贈られた際、小さな声で「ありがとう」と声を出すことが出来た瞬間や、企業向けに開催している花を使ったチームビルディングにおいて、普段直接的な言葉では上司に言えない秘書の方が花の飾り付けワークショップを通じて上司に心の声を伝えることができたことなど、目からウロコの内容でした。

## 【講師担当余話】

今回ステージ上と交流会会場にFestaらしい華やかな花をデザインいただき、また、それぞれ参加者が退場される際、それらの花をお持ち帰りいただくおもてなしにもご協力いただきました。参加者の方々にも大変好評で、Festaを明るく優し



交流会会場にて

く盛り上げる役を担っていただき本当に感謝しております。これから櫻井はる枝様のご活躍される姿を見る機会が増えることを楽しみにしています。



花のお持ち帰り風景

## 【Festa2019】セミナーレポート (No.8)

## ■ガルパンと共に歩み、楽しんだ大洗町

講師：常盤 良彦氏

レポート：セミナープログラム 西慶倫

## 【セミナー概要】

□開催期日：2019年11月24日(土) 13:00～14:00

□タイトル：ガルパンと共に歩み、楽しんだ大洗町

～ 誰もが参加できる仕組みづくりと向き合い方～

□講師：常盤 良彦氏

□講師のプロフィール：

株式会社Oaraiクリエイティブマネジメント代表取締役、大洗まいわい市場 大洗ガルパンギャラリー運営。1970年神奈川生まれ。

## ■PMI Japan Festa 2019

1999年、神奈川から茨城県大洗町へ移住。右も左もわからぬままとんかつ屋を立ち上げ、その後2009年大洗町商工会青年部の有志と未経験分野の直売物産所を同町に立ち上げる。目的は茨城県と大洗町の魅力を来町者に発信するため。

2011年、東日本大震災による津波で店舗浸水による休業。原発による風評被害から客数の激減を経験したが様々な施策で来場客数が増加。その後アニメ「ガールズ&パンツァー」との偶然の出会いから製作委員会と関係を構築。今もなお同町には多くのファンが来町し、商店街を始め近隣市町村と共に盛り上がりを見せている。



## 【はじめに】

セミナー・プログラムメンバーの紹介で常盤様に講演のお願いをするために、今夏初めて大洗町に伺い大洗ガルパンギャラリー内にある事務所でお会いしました。打ち合わせで講演内容を直接お聴きし、参加されるPMの方々にもお持ち帰りいただける内容が沢山含まれているということを改めて確認できました。

## 【講演内容】

講演は、講師曰く「アウェー感が漂う」なか、アニメ「ガールズ&パンツァー（ガルパン）」の精緻な戦車描写・物語の概要・忠実に再現された大洗町・ガルパンコラボイベントの紹介から始まりました。そして本題の大洗まいわい市場の立ち上げにまつわるお話から、震災後の復興に向けた取り組み、そしてガルパンというコンテンツに出会ったことから始まる

新たな町おこしのお話へ、受講者は一気に引き込まれていました。

実体験を伴った、「新しいことを始めるときには、オウン・リスクを取れる人の集合体でなければならない」、「アーリーマジョリティ・レイトマジョリティを巻き込むには結果をだすのみ」、「結果が伴えば共通言語が自然発生する」といったお話には、リスクの取り方・人の巻き込み方・リーダー不在でも動ける組織の作り方といったプロジェクト運営するうえで必要なノウハウが含まれた内容でした。

常盤様のさらなるご活躍と、大洗町の今後の発展を願っています。

## 【講師担当余話】

本講演の一週間前に、大洗あんこう祭りに参加しました。人口2万人弱の大洗町に押し寄せたのは14万人！ガルパンのコスプレをされた方をはじめ、老若男女さまざまな方が大洗に集っていました。歩行者天国になった商店街の各店舗前には、ガルパン痛車※が駐車されており、痛車を楽しみながら商店も見てもらう、商店街の人と参加者の交流が芽生える場を目の当たりにしてきました。

大洗に興味を持たれた方、ぜひ一度大洗町へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



※痛車：車体に漫画・アニメ・ゲームのキャラクターやメーカー・ロゴをかたどったステッカーを貼り付けたり塗装を行ったりするなどして装飾した自動車

## 【Festa2019】セミナーレポート (No.9)

## ■世界が認めた"上質な日常"

### ～「庭のホテル 東京」の奇跡～

講師：木下彩氏

レポート：セミナープログラム 近藤昇久

## 【セミナー概要】

□開催期日：2019年11月24日(日) 14:15～15:15

□タイトル：世界が認めた"上質な日常"  
～「庭のホテル 東京」の奇跡～

□講師：木下彩氏

□講師のプロフィール：

株式会社UHM 取締役

## 【略歴】

1960年 東京都生まれ。

1978年 上智大学外国語学部英語学科を卒業後、ホテルニューオータニに勤務。

1994年 株式会社東京グリーンホテル(現 株式会社UHM)に取締役として入社。

1995年 代表取締役就任。

2009年 『庭のホテル 東京』をオープン。

2011年 総支配人を兼務(2019年3月まで)。

2019年 株式会社UHMの野村不動産グループ入りに際し、4月より取締役に就任。

著書に『「庭のホテル 東京」の奇跡』(日経BP社)がある。



## 【はじめに】

木下様に初めてお会いしたのは2017年11月。とある会

合で友人から紹介してもらいました。そのときは名刺交換程度で、あまりお話しする時間を持てなかったのですが、その後ネットの情報など調べると、「庭のホテル 東京」がペニンシュラ、ハイアット、リッツ・カールトンといった世界的なラグジュアリーホテルと肩を並べるくらいホスピタリティの高いホテルとして評価されていることを知りました。また、もともとビジネスホテルだったところから、業態転換して成功したということも驚きでした。このようなホテルを率いている木下様にとても興味を持ち、そして1年後の2018年12月、念願かなって木下様の講演を聴く機会を得ました。

その内容は、事業環境の変化に対応して自社ホテルのかじ取りをどうするか経営戦略のお話、また、大胆な業態転換を決断し関係者、従業員の方々をリードしていくお話。これはPMI Japan Festaにふさわしいと思い、ご登壇をお願いしました。

## 【講演の内容】

祖父母の代からの続くホテルを経営されていたお母さまが亡くなられて、1994年に木下様が急きょ後を継ぐことになったとのこと。2000年代に入ってバブル崩壊後の余波、大手チェーンの参入、施設の老朽化、インターネットの普及、価格競争の激化という中で、働いているスタッフに「うちのホテルは安いだけで他に取柄がないよね」と思われてしまうこと、働いていることに誇りを持ってなくなってしまうことは避けたいと思うようになったそうです。

ホテルが持っている個性を気に入って、価格に関係なく選んでもらえる、働いているひとたちが「自分自身が利用したいと心から思うホテル」を目指すことにして、今までのビジネスホテルを閉鎖。働いているスタッフ、コンサルタント、ゼネコン、設計業者に携わるみんなが、「このホテルはいいホテルだね」と思ってもらえるホテルとして、「庭のホテル 東京」を開業。

ホテルは1度建てたら何十年も使い続けるものなので、そ

## ■PMI Japan Festa 2019

ここで常に新しい価値を生み出すには覚悟が必要というお言葉で講演を締めくくられました。

## 【講師担当余話】

木下様にJapan Festaに登壇いただくことを家で妻に話をしたら、妻は昔ホテル業界にいたこともあり、『庭のホテル』は開業直後から業界内でかなりの話題だった。ずっと注目していて、行ってみたいと思っていた」ということで、スケジュール的に宿泊はかなわなかったものの、ランチで訪問させていただきました。

水道橋駅のすぐ近く、立ち並ぶビルの中に「庭のホテル」がありました。空間はコンパクトなもの、落ち着いた和風の中庭、中庭を挟んでフレンチと懐石料理のレストラン、そしてホテルの中にところどころに取り入れた和のテイストなど工夫されているなど感じました。スタッフの方の手作りの

ハロウィンの飾りつけ、隅から隅まで行き届いたお客様への気配り、堅苦しくなく親しみのある対応など、“上質な日常”を実感させていただきました。



## 【Festa2019】セミナーレポート (No.10)

## ■プロジェクトの成否は提案段階で決まる！ ～体系的に学ぶ、PMとしての提案活動の進めかた～

講師：式町久美子氏

レポート：セミナープログラム 川野 琢也

## 【セミナー概要】

- 開催期日：2019年11月24日(日) 15:30～16:30
- タイトル：プロジェクトの成否は提案段階で決まる！  
～体系的に学ぶ、PMとしての提案活動の進めかた～

□講師：式町久美子氏

□講師のプロフィール：

- 一般社団法人日本プロポーザルマネジメント協会 代表理事
- ・日本ビューレット・パッカードにて、法人営業のための提案書作成支援チームを立ち上げ、提案活動の生産性向上に寄与。
- ・提案活動全般のマネジメントを通じて組織提案力を高める手法「プロポーザルマネジメント」の国際的な認定資格「Association of Proposal Management Professionals

(APMP)」の最上位資格を日本人で初めて取得。

- ・APMP日本支部を運営する一般社団法人日本プロポーザルマネジメント協会を2015年11月に設立。



## ■PMI Japan Festa 2019

- ・著書に『受注を勝ち取るための外資系「提案」の技術』（ダイヤモンド社）がある。

## 【はじめに】

式町様は働き方改革が声高に叫ばれるようになる以前から、自身の関わっておられた提案領域における日本の働き方の改善に取り組みたいと考えていました。当時所属されておられた会社内での活動から始まり、社外での勉強会、ひいては自身の生業として一般社団法人を設立しさまざまな会社への支援活動を行うなどその活動の幅を広げてこられました。

「顧客が真に必要なもの」を実現しプロジェクトを成功させるには、提案段階から関わる必要があるということをPMの方々にも広く知っていただきたく、今回のご講演を依頼しました。

## 【講演の内容】

当初、日本の法人営業の生産性を高めるため、提案支援チームを立ち上げ、より効果的な方法を模索されていました。アメリカ本社および他国の支社において取り組んでいる活動を参考にする中で、プロポーザルの専門職がキャリアデベロップメントやプロフェッショナルとして認められるために熱心に取り組んでいるAPMPという組織を知り、日本にはまだ支部がなかった頃にこの団体に入られたそうです。

2011年から社外での草の根活動を始められましたが、仕事をしながらでは難しいことも多くあり、より普及を促進するため、2015年11月に一般社団法人APMP日本支部およびそれを支援する団体を立ち上げられました。

APMPは、どうすれば受注を勝ち取るか、どうすれば生産性が高い受注に結びつくかを体系化しているプロポーザルマネジメントのBOKを有しており、この知識をどのような時に利用するのか、その利用方法の一部をご紹介いただきました。

プロジェクト・マネジャーがAPMPの知識を利用すべき場面として、以下のようなものを例示いただきました。

- プロジェクトを進める時に提案段階での内容が把握できない
- 提案書の作成依頼を受けた時にその書き方がわからない
- 提案する時に営業からの断片的な情報をもとにしたが顧客ニーズとずれていた
- 提案書作成時にプロジェクトのデリバリーをしながらの対応となるため、戦略策定やソリューション検討に時間が割

けない

- 複数人で手分けして提案書を作成した時、見た目や中身がバラバラだが、時間切れで提出しなければならない

また、今回の講演では、BOKから利用できる知識として、以下をご紹介いただきました。

- 提案を進める時に実施するプロポーザルマネジメント
- 良い提案の定義
- 顧客が真に必要なものを提案するためのオポチュニティ・プラン（提案機会や提案内容の検討計画）

「プロポーザル・マネジャーが増えることにより、提案締め切り前に関係者が早く帰宅できるようになり、海外での提案活動においても大いに活躍できる」という講演の最後の言葉に深く賛同しました。

## 【講師担当余話】

式町様をPMI Japan Festaへ招請したのは、私自身がAPMPに関わり、日本のプロジェクト・マネジャーが日常直面している大変な状況を改善する良い知識だと実感していたことから、ぜひ他の方にも認知していただきたいと考えたためです。

式町様とは、日頃から日本においてプロジェクト・マネジャーが提案活動に関わる大変さと、どのように改善して行くのが良いかについて問題意識を共有していたことから、講演を快諾いただきました。

この知識の共有により多くのプロジェクト・マネジャーが少しでも楽になればと考えています。

法人設立後、まだ数年であり、日頃多数の企業の支援や普及活動、執筆活動でお忙しい中、今回講演をいただいたこと、式町様に深く感謝申し上げます。





# Activities / 支部活動

## PMI日本支部リーダーシップ・ミーティング LM2019

PMコミュニティ活性化委員会 委員長 福本伸昭  
LM2019運営チーム・リーダー 伊熊昭等

2019年9月7日(土)と8日(日)の2日間、東京都調布市にあるNTT中央研修センターで「PMI日本支部リーダーシップ・ミーティングLM2019」を開催しましたので報告します。

### ■ LM2019のテーマ

今年で5回目になるこの会議は、PMI日本支部の戦略委員会のひとつ、PMコミュニティ活性化委員会(委員長 福本伸昭理事)が中心となって企画しています。各部会(委員会、研究会、ブランチ、プログラム)から、リーダーやアクティブメンバーを派遣いただき、今後のPMI本部や日本支部のビジョンや方向性、施策などを共有したり、参加者のリーダーシップ育成を目指したワークショップを行ったりすることで、よりアクティブな部会活動を促し、PMコミュニティを活性化させるのが目的です。

各部会から、2名の参加をお願いし、最終的には、PMIアジア・パシフィック(PMI-AP)1人、会長・理事・監事・顧問15名、部会メンバー52人(内、運営チーム11名)、事務局3名の70名が参加し、2日間にわたって熱い議論が展開されました。

今年のテーマは「PMI日本支部中期計画に関する意見交換」と「いきいきと活気あふれる団体になるためのコミュニティ・マネジメント」の2本立てでした。

前回のLM2018では、支部独自のPMセグメントのプロフィールを明示し、各セグメントが抱えるキャリア形成上の課題と、その解決策、支援策・サービスを考えました。その成果を支部中期計画へのインプットとしました。LM2019では、検討中の中期計画のコンセプトに対して部会リーダー層の意見を抽出しようとするものです。

もう一つのテーマについてはPMコミュニティ活性化委員会がかねてより検討を進めていたもので、支部の各部会の推進を楽しく、活気あふれるボランティア活動とするために「コ

ミュニティ・マネジメント」という考え方を導入しようとするものです。その結果、グループ討議は例年にも増して活発に行われ、充実した結果を得ることができました。

### ■ 開催概要(1日目)

奥澤会長の挨拶で開幕したLM2019は、PMI Global Updatesとして、シンガポールから来られたSiti Roziantiさん(PMI-AP)にスピーチをいただきました。創立50周年を迎えたPMIの今後の展望やPMP試験改定を含め、通訳なしの英語のスピーチでしたがわかりやすいプレゼンテーションをいただきました。次に、渡辺哲也理事によりPMI EMEA LIM & Congressの参加報告が行われました。

午後からは片江有利副会長、池田修一理事よりPMI日本支部 中期計画策定プロジェクトの検討内容の説明があり、その後、6グループ(女性PM、ジュニアPM、PM、シニアPM、シニア・アフターPM、法人)に分かれて「ミッションとビジョン」、「セグメントと価値」についてグループ討議



中期計画検討状況説明



ミッションとビジョンの討議



セグメントと価値提案の討議



セグメントと価値提案の討議

## Activities / 支部活動

## ■PMI日本支部リーダーシップ・ミーティングLM2019

を行いました。各グループからは討議結果が紹介され、その結果は中期計画に反映される予定です。

1日目の最後は、斉藤学理事による組織拡大委員会の活動紹介と、意外と知らないPMI日本支部会員の活動状況を「あるあるクイズ形式」で説明していただき和やかなプレゼンテーションとなりました。

夕食は、例年好評であった「ケータリング方式」を今年も採用して内容もさらに充実し皆さまに満足していただけたものと思います。その後の楽しい懇親会（二次会）では、参加者の有志が持参した飲食物で深夜まで活発な交流が行われました。

## ■開催概要（2日目）

2日目は、NPO法人CRファクトリーの呉哲煥講師による「いきいきと活気あふれる団体になるためのコミュニティ・マネジメント」という題目でワークショップを行いました。まず講義で「理念共感と貢献意欲を高めるポイント」の概要説明があり、コミュニティを良くするために観点として、

- 理念共感（一緒に担っていきたい）
- 自己有用感（自分は役に立っている）
- 居心地の良さ（一緒に活動するのが楽しい）

について、8グループに分かれグループ討議を行いました。グループ内では、支部の部会参加者がペアとなり自分たちの活動について討議し、他の部会との比較で課題認識と解決策



コミュニティ・マネジメント講義



研修全景



ペア討議

を議論していただきました。

2日目の締めくくりは、各グループのプレゼンテーションと質疑応答です。今年は、発表時間を短くしたので、会場からの質問は行わず他のメンバーから質問やコメントをポストイットに書いて発表資料に相互に貼ってもらう手法としました。他のメンバーからのコメントはそれぞれ持ち帰り、その後の委員会・部会活動を進める上で参考になるものと考えます。



討議結果まとめ



プレゼンテーション



各自のコメントの貼り付け



最優秀賞授与

福本伸昭委員長が審査委員となり、制限時間内のプレゼンテーション力が最も優れた「Aグループ」（組織拡大委員会、PMコミュニティ活性化委員会、PMBOK®セミナープログラム、ソーシャルPM研究会）に最優秀賞が贈られました。解散式では、端山毅副会長の全体講評があり、全員で記念撮影を行いました。

今年は、2日目に台風15号が関東を直撃する予報で名古屋、関西からの参加者が帰宅時に交通の影響（計画運休など）が出る懸念があったため1時間繰り上げて終了しました。結果的には関西方面からの参加者の帰宅には影響はなかったということで安堵しました。

## ■過去最高の参加者評価

参加いただいた部会リーダー・アクティブメンバーの方々からのアンケート結果では、高い満足度をいただくことがで

## Activities / 支部活動

## ■PMI日本支部リーダーシップ・ミーティングLM2019

きました。全体を通して84%が「大変良かった」、15%が「良かった」であり、99%が満足となり、プロジェクト憲章で定義した成功基準（満足度90%以上）を達成しました。特に「大変良かった」の割合が昨年の66%に比べて大きく増加する結果となりました。

他のチャプターでは例を見ない日本支部独特のLMを開催することにより、PMコミュニティをより一層活性化させることができ、毎年恒例のイベントとして継続的に開催することを定着化させることができました。アンケート結果をもとに、次年度に向けてさらなる改善を検討していきたいと思えます。

## ■LM2019運営チーム

日本支部として5回目となるLM2019は、これまでの経験も生かされ、運営チームと事務局のチームワークも良く、想定外の事態にも臨機応変の素早い対応ができ、イベントを成功裡に終了することができました。

LM2019開催の準備・運営の企画は、LM2015～LM2018運営を経験した伊熊昭等、吉田謙一氏、松本弘明氏、十返文子氏、杉原卓朗氏、折口長雄氏、中本妙華氏、田中真琴氏に加えて、新たなメンバーとして

河野竹敏氏、堀尾洋人氏、清水眞理氏の11名で構成する強力な「LM2019運営チーム」を結成しました。6月のキックオフミーティングの後、チームを立ち上げてから開催までわずか3カ月の短い期間でしたが、メンバー各位の献身的な努力と、支部事務局の吉田事務局長、西山かおり氏他のご尽力もあって、開催にこぎつけることができました。

参加された皆さま、およびご協力くださったボランティアメンバーの皆さまに、この場を借りて心からの感謝を申し上げます。



運営チーム



LM2019参加者

## ■女性PMコミュニティ WomenOBF 2019年の活動紹介

女性PMコミュニティ WomenOBF

代表 高橋 紫

「女性PMコミュニティ WomenOBF」（以下WOBF）は、一般女性PMと交流のため、2018年から2年続けて、8月末に表参道でイベントを開催しました。このイベントは、NPO 法人サービスグラントさんと合同で開催しています。

今回はこのイベントの開催状況をご報告します。

サービスグラントさんは、仕事でのプロジェクトマネジメントの経験をプロボノ（仕事の経験を活かしたボランティア活動）を通じて社会に還元するプログラムを提供するNPO 法人です。

WOBFは2017年まで毎年、夏のフォーラム発表を中心に活動していましたが、残念ながら、聴きに來てくださる女性が少ない状況でした。

2018年はWOBFのメンバーが少なくなったこともあり、私たちはもっと効率よく、WOBFの研究成果を女性PMへ届けたいと考え、活動開始後すぐにイベント開催の検討を始めました。

しかし、集客する力も予算もない。そこで、3年前にイベントでコラボさせていただいたサービスグラントさんに協力をお願いし、共催イベントを企画しました。共催を支部にご承認いただくため、当時の理事の方々にも大変お世話になりました。

2018年8月29日水曜、表参道の東京ウィメンズプラザで一般女性30名が参加してくださいました。

前半は2017年のWOBFの研究成果をお伝えし、後半のワークショップでは、「自分らしく活躍しチャレンジの一步を踏み出すために励みになること」をグループでまとめ、発表していただきました。

今年2019年は、前回の様子をふまえ、参加者同士がもっと話せるよう、ワークショップの時間を充実させることにしました。

2018年のイベントの結果から、「チャレンジの一步を踏み出すために励みになること」ベスト10を集計したところ、上司や同僚など周りの人との関わりに関することが上位を占めることがわかりました。

そこで、慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント研究科のWCA（欲求連鎖分析）を参考にし、自分と他者をマトリックスに描き、「して欲しいこと」を書き出すワークショップを行うことにしました。

2019年8月28日(水)、表参道の東京ウィメンズプラザでのイベントに17名が参加してくださいました。

ワークショップは、グループの構成メンバーの共通点に応じてアウトプットに特徴があるという、興味深い成果が得られました。

この成果をWOBFの研究と、来年2020年のイベントテーマに繋げます。

また、イベントに参加して下さった女性PMとの座談会を企画したいとも考えています。

WOBFは、今後も楽しく、無理せずに、一般女性PMとの交流実績を積み上げて行きます。



WOBF イベント参加者



成果物-1

成果物-2

成果物-3

成果物-4

# PM Calendar / PM カレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。  
詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中】

## ■ PMI日本支部関連セミナー／ワークショップ

### ● 2020年1月新春特別セミナー

- 日時：1月25日(土) 15:00～17:00
- 場所：AP虎ノ門 11階ルームA
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

### ● アジャイルプロジェクトマネジメント基礎

- 日時：2月7日(金) 9:30～18:00
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

### ● デザイン思考実践（2日間）

- ～顧客経験（CX）からの革新商品&サービス開発～
- 日時：2月25日(火)・26日(水) 9:30～18:00
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 14PDU、ITC実践力ポイント14時間分

### ● 2020年3月度月例セミナー

- 日時：3月18日(水) 19:00～21:00
- 場所：AP虎ノ門 11階ルームA
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

### ● デザイン思考基礎

- ～優れた優れた顧客経験（CX）を提供する～
- 日時：2月4日(火) 9:30～18:00
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

### ● 2020年2月度月例セミナー

- 日時：2月20日(木) 19:00～21:00
- 場所：AP虎ノ門 11階ルームA
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

### ● アジャイルプロジェクトスタートアップ入門 ～ビジョニング編～

- 日時：3月6日(金) 9:30～18:00
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

### ● デザイン思考応用（2日間）

- ～新事業創出への変革シナリオ～
- 日時：3月10日(火)・11日(水) 9:30～18:00
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 14PDU、ITC実践力ポイント14時間分

## ■ PMI日本支部関連イベント

### ● PMI日本フォーラム2020

- 日時：2020年7月4日(土)・5日(日)
- 場所：学術総合センター（神保町）
- 12PDU、ITC実践力ポイント12時間分

【月例セミナー開催について】 2020年度の月例セミナーは、下記の日程で全て虎ノ門にて行います。

【日程(予定)】	(2020年1月25日(土) 新春特別セミナー)
	① 2020年2月20日(木)      ④ 2020年5月22日(金)      ⑦ 2020年9月25日(金)
	② 2020年3月18日(水)      ⑤ 2020年6月26日(金)      ⑧ 2020年12月16日(水)
	③ 2020年4月24日(金)      ⑥ 2020年8月28日(金)

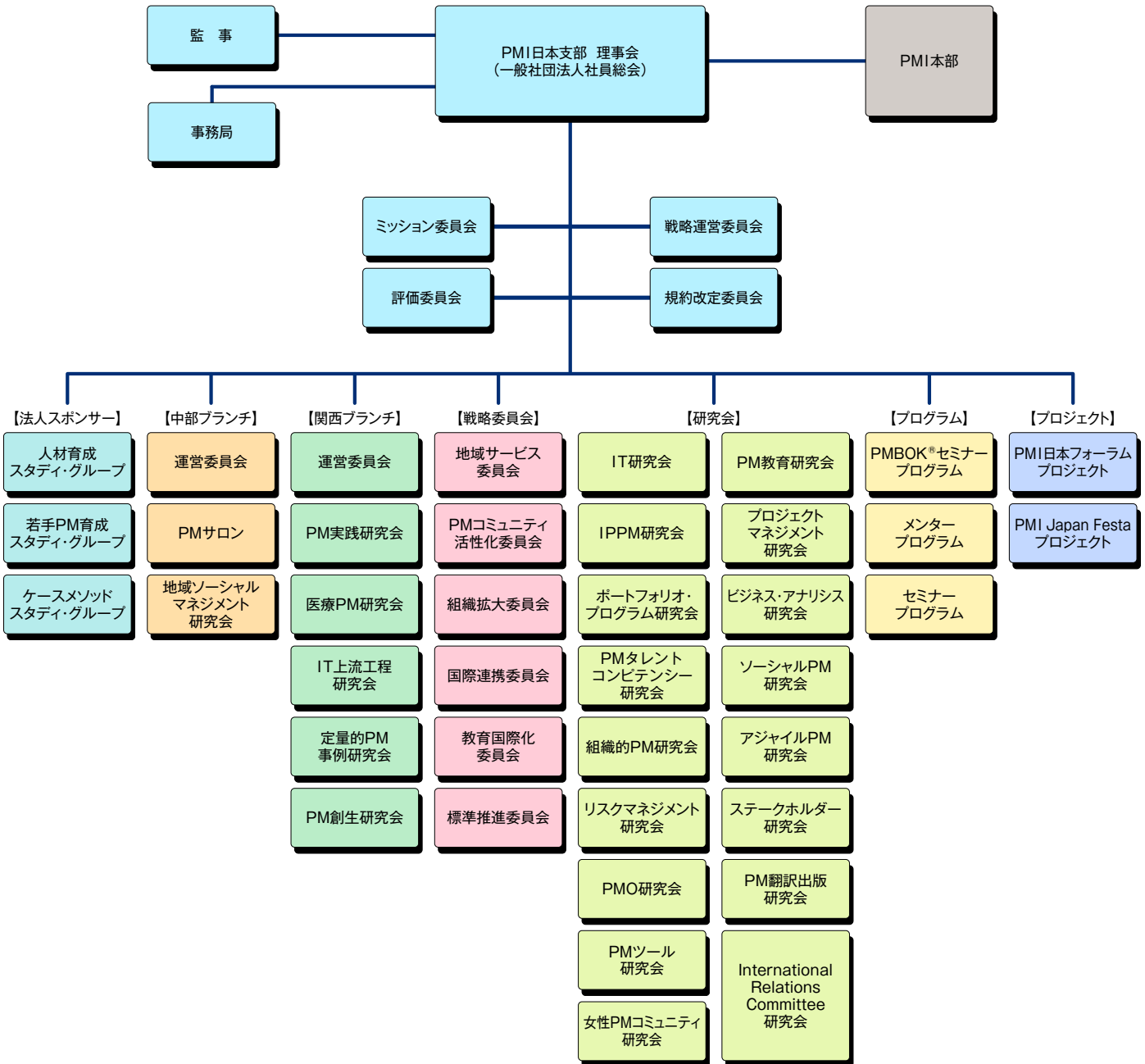
【場 所】	● AP虎ノ門 11階ルームA
	東京都港区西新橋1丁目6番15号 NS(日本酒蔵)虎ノ門ビル
	東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」9番出口、都営三田線「内幸町駅」A4a出口から徒歩3分

\*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。  
PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。(https://www.pmi-japan.org/event/)

# Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

## ■ 支部活動 (2019年12月現在)



## ■理事一覧 (2019年6月現在)

会長 <sup>(※)</sup>	: 奥澤 薫 (KOLABO)
副会長 (地域サービス委員会 <sup>※</sup> )	: 浦田有佳里 (TIS株式会社)
副会長 <sup>(※)</sup>	: 片江有利 (株式会社システムコストマネジメント)
副会長 <sup>(※)</sup>	: 端山 毅 (株式会社NTTデータ)

※規約改定・評価・ミッション・戦略運営の4委員会を兼務

(以下、五十音順)

理事 (組織拡大委員会)	: 麻生重樹 (日本電気株式会社)
理事 (ミッション委員会)	: 池田修一 (株式会社ポジティブ・ラーニング)
理事 (教育国際化委員会)	: 伊藤 衡 (小山工業高等専門学校 専攻科 非常勤講師)
理事 (教育国際化委員会)	: 井上雅裕 (芝浦工業大学)
理事 (ミッション委員会)	: 岩岡泰夫 (株式会社国際開発センター)
理事 (地域サービス委員会)	: 木南浩司 (株式会社マネジメントソリューションズ)
理事 (組織拡大委員会)	: 斉藤 学 (スカイライト コンサルティング株式会社)
理事 (標準推進委員会)	: 鈴木安而 (PMアソシエイツ株式会社)
理事 (国際連携委員会)	: 武上弥尋 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
理事 (標準推進委員会)	: 中嶋秀隆 (プラネット株式会社)
理事 (コミュニティ活性化委員会)	: 福本伸昭 (株式会社JTB情報システム)
理事 (財政担当)	: 三嶋良武 (株式会社三菱総合研究所)
理事 (組織拡大委員会)	: 水井悦子 (EMPower Consulting)
理事 (コミュニティ活性化委員会/戦略運営委員会)	: 森田公至 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
理事 (教育国際化委員会)	: 除村健俊 (芝浦工業大学)
理事 (組織拡大委員会)	: 渡辺哲也 (株式会社日立アカデミー)
監事	: 神庭弘年 (神庭PM研究所)
監事	: 平石謙治 (ビー・ティー・ジー・インタナショナル)
監事	: 渡辺善子 (株式会社日本政策金融公庫)
顧問 (地域サービス委員会)	: 木下雅裕 (ニッセイ情報テクノロジー株式会社)
顧問 (国際連携委員会)	: 杉村宗泰 (日本マイクロソフト株式会社)
顧問 (コミュニティ活性化委員会)	: 高橋正憲 (PMプロ有限会社)

## ■最新の会員・資格者情報 (2019年10月31日現在)

会員数		資格保有者数								
		PMP <sup>®</sup>		PMI-SP <sup>®</sup>	PMI-RMP <sup>®</sup>	PgMP <sup>®</sup>	PMI-ACP <sup>®</sup>	PfMP <sup>®</sup>	PMI-PBA <sup>®</sup>	CAPM <sup>®</sup>
PMI本部	日本支部	世界全体	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住
591,149人	5,020人	997,832人	37,927人	4人	9人	9人	86人	5人	12人	172人

## ■行政スポンサー (2019年12月現在)

- 三重県 桑名市
- 滋賀県 大津市

## ■法人スポンサー 一覧 (114社、順不同、2019年12月現在)

- TIS株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 株式会社NSD
- 株式会社インテック
- キヤノンITソリューションズ株式会社
- 日本電気株式会社
- アイアンドエルソフトウェア株式会社
- 株式会社NTTデータ
- プラネット株式会社
- 株式会社建設技術研究所
- 日本ユニカシステムズ株式会社
- 株式会社クレスコ
- ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- 日本ビューレット・パッカード株式会社
- 株式会社アイ・ティー・ワン
- 株式会社タリアセンコンサルティング
- TDCソフト株式会社
- 株式会社大塚商会
- 日本プロセス株式会社
- 株式会社NTTデータ関西
- 日本ユニシス株式会社
- Kepner-Tregoe Japan, LLC.
- JBCC株式会社
- パーソルラーニング株式会社
- 日本アイ・ビー・エム・ビズインテック株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- 株式会社日立インフォメーションアカデミー
- 情報技術開発株式会社
- アイシンク株式会社
- 三菱総研DCS株式会社
- ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- 東芝テック株式会社
- 三菱スペース・ソフトウェア株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- NTTデータアイ株式会社
- 日鉄ソリューションズ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 日本自動化開発株式会社
- 日揮株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- NECネクサソリューションズ株式会社
- 株式会社JSOL
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 株式会社リコー
- 株式会社システム情報
- 住友電気情報システム株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- 株式会社マネジメントソリューションズ
- NDIソリューションズ株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社システムインテグレータ
- 日本ビジネスシステムズ株式会社
- コベルコシステム株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 富士電機株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 株式会社神戸製鋼所
- 日本証券テクノロジー株式会社
- クオリカ株式会社
- 株式会社エクサ
- 株式会社ラック
- 三菱電機株式会社
- TAC株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 株式会社日立社会情報サービス
- 株式会社シグマクシス
- 株式会社TRADECREATE
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- システムスクエア株式会社
- 株式会社アイ・ラーニング
- 株式会社トヨタシステムズ
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- 株式会社ワコム
- NCS & A株式会社
- 日本システムウェア株式会社
- 日立物流ソフトウェア株式会社
- SCSK株式会社
- 株式会社東レシステムセンター
- ビジネステクノクラフツ株式会社
- 株式会社シティアスコム
- SOMPOシステムズ株式会社
- 株式会社エル・ティー・エス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- MS & ADシステムズ株式会社



- 日本クイント株式会社
- リコージャパン株式会社
- 株式会社HS情報システムズ
- 株式会社アジャイルウェア
- ソフトバンク・テクノロジー株式会社
- 株式会社インテジテクノスフィア
- 株式会社ネクストスケープ
- セブンスカイズ株式会社
- 関電システムソリューションズ株式会社
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社オーシャン・コンサルティング
- 株式会社リクルートテクノロジーズ
- アクシスインターナショナル株式会社
- 株式会社ネットラーニング
- JFEシステムズ株式会社
- アドソル日進株式会社
- キヤノン株式会社
- 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
- 富士ゼロックス株式会社
- 大日本印刷株式会社
- 株式会社ビジネスコンサルタント
- 株式会社SHIFT
- サイフォーマ株式会社
- 株式会社オプテージ
- 株式会社JTB情報システム
- 株式会社NTTデータ・ニューソン
- キーウェアソリューションズ株式会社
- ヤンマー情報システムサービス株式会社

## ■アカデミック・スポンサー 一覧 (49教育機関、登録順、2019年12月現在)

- 産業技術大学院大学
- 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- サイバー大学
- 芝浦工業大学
- 金沢工業大学
- 九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻
- 広島修道大学経済科学部
- 北海道大学 大学院情報科学研究科
- 山口大学大学院技術経営研究科
- 筑波大学大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- 早稲田大学 ビジネススクール
- 早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- 公立大学法人 広島市立大学 情報科学部
- 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- 大阪大学 大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- 愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- 学校法人中部大学 経営情報学部
- 京都光華女子大学
- 鹿児島大学産学連携推進センター
- 中央大学 文学部社会情報学専攻
- 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- 京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究支援センター
- 東京工科大学大学院 コンピュータサイエンス専攻
- 北海道情報大学
- 山口大学工学部知能情報工学科
- 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科および大学院医療秘書学専攻
- 青山学院大学 国際マネジメント研究科
- 公立大学法人 公立はこだて未来大学
- 慶應義塾大学・理工学部・管理工学科・飯島研究室
- 就実大学 経営学部
- 神戸女子大学 家政学部 家政学科
- 明石工業高等専門学校 建築学科 大塚研究室
- サレジオ工業高等専門学校 一般教育科 物理教育学研究室
- 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域
- 中京大学 情報センター
- 法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科
- 札幌学院大学
- 国立研究開発法人 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター
- 岡山大学 教育研究プロジェクト戦略本部 戦略プログラム支援ユニット (URA)
- 香川大学大学院 地域マネジメント研究科 中村研究室
- 明治大学 経営学部 鈴木研一研究室
- 中京大学 経営学部 齊藤毅研究室
- 独立行政法人国立高等専門学校機構舞鶴工業高等専門学校
- 愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 丸山智子研究室
- 東京都市大学 都市生活学部 国際開発プロジェクト研究室
- 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 情報文化学科
- 地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院 研究センター
- 中央大学 国際情報学部

# Editor's Note / 編集後記

執筆者の皆さまへ。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

- 「PMI Japan Festa 2019」は、去る11月23日・24日に延べ700人を超える方々に参加いただき盛況裡に終了しました。全国向け同時中継システムも高評価をいただいています。今号で講演の概要をご報告しました。
- 今年で5回目となる「PMI日本支部リーダーシップミーティングLM2019」は9月7日・8日に開催されました。今年のテーマは「PMI日本支部中期計画に関する意見交換」と「いきいきと活気あふれる団体になるためのコミュニティ・マネジメント」の2本立て。その報告をご覧ください。
- 女性PMコミュニティ研究会（WOBF）がNPO法人サービスグラント様と合同で2018年に続いて今年も夏に開催したイベントをご紹介します。WOBFの研究成果を広く女性PMへ届けるイベントです。

## ニューズレター編集担当から読者の皆様へお願い

新元号「令和」に新たな時代の希望を感じた一年ということで、2019年の「今年の漢字」は『令』に決まりました。去年は災害が多かったということで『災』が選ばれましたが、去年以上に災害が多かったと感じている人も少なくないのではないでしょうか。敢えて新元号に世の安寧を託す思いを共有したいと思います。

支部会員が5,000人の大台を超えた2019年12月。理事選挙が行われ、継続16名、新任8名の全候補者が過半数の信任を得て2020年度の理事として選任されました。任期は2020年1月からの2年間です。

新体制の下で進むPMI日本支部をよろしくごお願い致します。

### PMI日本支部ニューズレター Vol.81 2019年12月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局

〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階

TEL：03-5847-7301 FAX：03-3664-9833

E-mail：info@pmi-japan.org

ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

(非売品)